

株式会社コスモス薬品の企業版ふるさと納税による民間資金を活用した宮城県北地域における森林保護・森林整備の取組について

1. コスモス薬品の沿革
2. コスモス薬品との連携
3. コスモス薬品との意見交換
4. 宮城県北9市町村の取組
5. 今後の展望



1. コスモス薬品の沿革

企業戦略～荒地にもしっかりと根を張り、綺麗な花を咲かせる『コスモスの花』のように

株式会社 コスモス薬品

- 1983年12月
医薬品、化粧品、雑貨等の販売を目的に宮崎県延岡市に「有限会社コスモス薬品」を設立
- 1991年4月
「有限会社コスモス」を「株式会社コスモス薬品」に組織変更、その後、宮崎県内各地に店舗を開設
- 2000年4月
本社を延岡市から宮崎市へ移転し本部機能を統合
- 2003年5月～
熊本県、山口県（2004年3月）に新店舗を開設、東京証券取引所マザーズ市場上場（2004年11月）
- 2005年4月
本社機能を福岡県博多区に移転
- 2010年5月～
関西地区（兵庫県明石市）に新店舗開設、中部地区（三重県四日市市）に新店舗開設（2015年11月）、関東地区（東京都渋谷区）に新店舗開設
- 2023年
沖縄、東北、北海道を除き全国に1,435店舗を開設（2023年12月末）

※コスモス薬品HPより

2. コスモス薬品との連携

経緯

(1) 甚大な豪雨災害

平成29年7月九州北部豪雨

- 平成29年7月5日～6日、福岡県（朝倉市）及び大分県（日田市）では線状降水帯は発生し、河川の氾濫等により多くの方が亡くなられ、家屋の全壊など甚大な被害が発生。

令和2年7月豪雨

- 令和2年7月3日、熊本県球磨川流域にて、24時間に平年の7月約1ヶ月分に相当する489.5mmの雨量を観測し、河川の氾濫や土砂災害等が発生し、多くの人命や家屋の被害が発生。

コスモス店舗も被害

- 九州各店舗にて、水害等により店舗も浸水被害が発生。

(2) 地域への貢献

- コスモス薬品は1983年の創業以来、創業の地、宮崎県延岡市をはじめ、宮崎県内の皆様のおかげで会社を大きく成長。
- これまでのご協力に感謝し、地域貢献・地域へ恩返しをしたい。



森林を保護し森林の持つ機能の維持・増進を図ることが重要



(3) 森林・林業施策の考え方

コスモス薬品の意見

- 林業は**国等の補助支援で成り立っている事業と認識**、費用がかからない森づくりが必要。
- 伐採と植林の**循環が永遠に継続される**のであればそれがベストだが、この循環が維持できなければ、森林が荒廃していく。
- 木材価格が安定し、**補助金等に頼らない林業経営**が望ましい。
- 山林に複数の樹種（広葉樹）を密植し、3年程目途に除草管理すれば、その後は手のかからない森になるのではないか。

県北9市町村の考え方

- 山林の状況に応じて、針葉樹や広葉樹を整備し、これらの森林を適正に管理（下草刈りなど）することが、森林の持つ**公益的機能を維持・発揮**につながり、災害の防止につながる。
- 林業は、**木材の生産（川上）、木材の加工（川中）、木材の流通（川下）、それぞれが役割を果たし、林業産業が成り立っている。**
- 山林を適正に維持していくには、**地域に人が住み生活が営まれ、地域コミュニティの形成が重要である。**
- 資源循環型の林業を推進し、針葉樹、広葉樹を問わず「**適地適木**」の考えにより、山林を適正に管理することが林業を担うものの責務である。



3. コスモス薬品との意見交換

令和4年7月

出席者 コスモス薬品……………柴田取締役、杠マネージャー
宮崎県北9市町村……………林業担当 外（宮崎県）

協議事項（主なもの）

(1) 森林保護、災害に強い森づくりを進めるために

- ・ 針葉樹と広葉樹の混交林を整備することで、災害に強い森林へとつなげたい。
- ・ 森林保護を進める上では林業担い手の育成・確保が課題であり、この寄付金を活用して林業担い手の確保につなげたい。
- ・ 除間伐など森林整備を実施すること、山林を手入れすることが災害を減らすことにつながる。

(2) 災害を減らすための伐採手法について

- ・ 地形に応じた間伐、保育管理が必要であるが、列状間伐など考えられる。
- ・ 林地内の残材の処理（搬出）をどうするかも課題である。

(3) Jクレジットの取組について

- ・ カーボンニュートラル実現に向けての森林クレジットの取組が求められる。



自然災害の被害が減少される取組や新しい事業へのチャレンジ、また、国・県等による事業以外の取組にコスモス薬品の寄付を活用いただきたい。



意見交換会



現地視察



現地視察

寄付に係るプロセス（通年）

- (1) 11月～12月 : 宮崎県北9市町村協議（第1回）
 - ・次年度の取り組み事業及び寄付要望額等を協議
- (2) 12月 : コスモス薬品との協議（第1回・コスモス薬品本社）
 - ・宮崎県北9市町村の取組事業提案及び寄付要望額の協議、意見交換 ⇒ 寄付見込額の内諾
- (3) 2月 : 宮崎県北9市町村協議（第2回）
 - ・次年度の取り組み事業の確認及び寄付配分額の協議
- (4) 4月 : コスモス薬品との協議（第2回・コスモス薬品本社）
 - ・本年度の取組事業の最終提案及び寄付配分額の説明、意見交換
- (5) 5月 : コスモス薬品から寄付金交付 ⇒ 森林保護事業に活用

令和3年度：宮崎県北7市町村を支援 支援額：172,490千円
 （延岡市・日向市・美郷町・椎葉村・高千穂町・日之影町・五ヶ瀬町）

令和4年度：宮崎県北9市町村を支援 支援額：180,000千円
 （延岡市・日向市・門川町・美郷町・椎葉村・諸塚村・高千穂町・日之影町・五ヶ瀬町）

令和5年度：宮崎県北9市町村を支援 支援額：180,000千円
 （延岡市・日向市・門川町・美郷町・椎葉村・諸塚村・高千穂町・日之影町・五ヶ瀬町）



寄付金贈呈式

4. 宮崎県北9市町村の取組

(1) 寄付額等一覧

※門川町、諸塚村は地域再生計画を受けた令和4年度から寄付受け入れを開始

単位：千円

市町村名	事業数	令和3年度		令和4年度			令和5年度		
		事業費	寄付額	事業数	事業費	寄付額	事業数	事業費	寄付額
1 延岡市	8	86,663	75,250	8	141,639	68,570	9	151,940	60,680
2 日向市	3	4,856	4,000	2	14,819	11,640	2	32,500	18,540
3 門川町	0	0	0	3	17,611	11,520	3	14,700	9,060
4 美郷町	1	30,202	30,000	1	29,956	19,300	1	32,930	17,440
5 椎葉村	5	38,048	22,400	4	26,488	10,460	4	18,300	11,030
6 諸塚村	0	0	0	7	21,330	16,880	6	25,754	12,780
7 高千穂町	2	13,329	12,600	2	12,888	8,240	4	23,344	13,770
8 日之影町	3	27,903	18,240	4	34,160	19,920	5	32,190	18,600
9 五ヶ瀬町	1	11,638	10,000	6	28,275	13,470	7	31,200	18,100
合計	23	212,639	172,490	37	327,166	180,000	41	362,858	180,000
森林整備事業	13	/	/	20	/	/	22	/	/
林業担い手育成事業	4			3			4		
林道等維持管理事業	6			13			15		
その他	0			1			0		

(2) 各市町村の取組事業（令和4年度）

【延岡市】

①循環型林業促進事業

【目的】植林や下刈り等の森林施業を支援し、樹木の健全な成長を促進し森林の持つ公益的機能の維持・増進を図る。

【事業内容】新植：211ha 下刈り：994ha 間伐：150ha 除伐：171ha
作業路開設：1,560m

【事業費等】35,926千円 コスモス薬品寄付活用額：14,570千円



②林業担い手育成推進事業

【目的】新規林業就業者の就業支援や林業機械操作に必要な資格取得の支援、林業大学校での研修支援を行い林業担い手の育成・確保を図る。

【事業内容】新規林業就業者支援：24名 みやざき林業大学校研修生支援：3名
林業資格取得支援：2事業者 3名

【事業費等】16,000千円 コスモス薬品寄付活用額：13,000千円



③林道路面整備事業

【目的】 林道は森林整備の取組に重要な施設であるが、近年の豪雨等により路面の悪化が見られ、路面を整備することで災害の未然防止を図るとともに、森林整備の促進につなげる。

【事業内容】 路線数：5路線 鉄鋼スラブ路盤工：1,408m コンクリート路面工：25m
木製横断工：9箇所

【事業費等】 15,993千円 コスモス薬品寄付活用額：6,000千円



④森林整備作業道補修事業

【目的】 作業道は除間伐等の森林整備に欠かせない路網であることから、通行が困難な個所の補修を行い、植林等、森林施業ができる環境を整え、森林の公益的機能の維持や林業の振興を図る。

【事業内容】 箇所数：19箇所 路面整備延長：6,308m 路面補修等：5箇所

【事業費等】 8,239千円 コスモス薬品寄付活用額：1,000千円



【日向市】

①国土保全造林事業

【目的】 森林資源の確保を図るため、再造林の向上に努め、森林の持つ公益的機能の維持・増進を図るとともに、災害に強い森林づくりを推進する。

【事業内容】 植林：25ha （スギ露地苗：15.2ha コンテナ苗：9.8ha）

【事業費等】 2, 184千円 コスモス薬品寄付活用額：2, 000千円



【門川町】

①林道維持補修事業

【目的】 豪雨等により林道路面の悪化等が見られ、災害を誘因することも考えられ、林道路面を整備することで災害の未然防止と森林整備が可能な環境を整える。

【事業内容】 舗装補修箇所数：3路線 933m² 横断溝整備：1路線8箇所

【事業費等】 5, 459千円 コスモス薬品寄付活用額：3, 526千円



【美郷町】

①森林整備事業

【目的】立地条件に応じた適地適木を植林し、豊かな森林づくりを推進する。また、計画的な除間伐を行い、森林の健全な成長を促し、災害に強い森林づくりを推進する。

【事業内容】植林：1,697ha 除間伐：91a 防護柵整備：84,730m

【事業費等】29,956千円 コスモス薬品寄付活用額：19,300千円



【椎葉村】

①しいば里山保全・資源活用推進事業

【目的】地域住民等による里山保全（間伐や侵入竹の除去等）の取組を支援し、里山林の再生や多面的機能の回復を図る。

【事業内容】団体数：4団体（里山林保全・竹林整備・侵入竹の除去）

【事業費業費等】1,923千円 コスモス薬品寄付活用額：940千円



【諸塚村】

①スマート林業ドローン測量実証事業

【目的】 再造林地測量の労務軽減を図るため、ドローンを活用した測量を実施し、その有効性や省力化の検証を行い、スマート林業の推進を図る。

【事業内容】 再造林地のドローンによる測量

【事業費等】 1, 451千円 コスモス薬品寄付活用額：800千円



【高千穂町】

①森林整備事業

【目的】 森林の公益的機能を維持する観点から、再造林、下刈り、間伐、防護柵整備を支援し、森林の再生や豊かな森づくり、災害に強い森林づくりを推進する。

【事業内容】 再造林：26ha 下刈り：124ha 防護柵：15,166m

【事業費業費等】 11, 848千円 コスモス薬品寄付活用額：7, 200千円



【日之影町】

①林業担い手創出事業

【目的】 林業従事者の高齢化や担い手不足を解消するため、就労条件を整備し、魅力ある職業への確立に向けた支援を行い、雇用の安定と持続可能な林業経営の確立を目指す。

【事業内容】 雇用者：7名（5事業体）

【事業費等】 3,070千円 コスモス薬品寄付活用額：1,645千円



【五ヶ瀬町】

①林業担い手総合対策基金事業

【目的】 伐採や再造林を担う林業担い手の確保・育成が不可欠であることから、林業事業体への福利厚生を支援し、林業担い手の確保を図り、森林の適正な管理を推進する。

【事業内容】 対象者：49名（9事業体）

【事業費業費等】 4,248千円 コスモス薬品寄付活用額：1,000千円



5. 今後の展望

コスモス薬品としての方向性

(1) 企業の社会的責任（CSR）

- ①経済面：**経済的業績（利益追求）、投資家への配慮**
- ②社会面：**地域社会との共生**や製品の安全性、従業員の福利厚生
- ③環境面：**環境に配慮した商品開発**

(2) 特に重要視する事項

《**カーボンニュートラル**を見据えた企業の社会的責任》

- ①**森林保護の取り組みを進める中で、地球温暖化対策やCO2排出量の削減など、これらの課題に対しどう取り組むか**が企業の社会的責任として問われている。
- ②**地域社会への貢献や社会の要請にどう応えるか**求められている。

(3) 企業版ふるさと納税制度を通じた9市町村への支援

- ①適地適木への森林整備や保護の取組、林業担い手育成等を継続して支援。
- ②**カーボンニュートラルを見据えた、脱炭素の社会（地域）づくり**を支援。
- ③豊かな森づくりにつながる**チャレンジの取組**を支援。
- ④これから先もこの制度を活用して更に連携を強め支援を継続。
- ⑤県北9市町村だけではなく、**宮崎県内の他地域にも森林保護の取組支援を広げ**、豪雨災害等の被害減少につなげたい。

県北9市町村の考え

- ①意見交換等を通じて、県北9市町村、コスモス薬品と更に連携を強め、森林保護・整備に取組。
- ②寄付を有効活用し**地球温暖化の防止に繋がる森林づくりを進め、脱炭素社会づくりを推進**。
- ③コスモス薬品の取組を**他の企業へ普及させ、様々な業種がそれぞれの立場で森林保護に取組んでいく社会が形成**できるよう、企業との協業に力をいれていきたい。